

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	鍼灸診断学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	是石 芳宏	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸診断学では西洋医学的な病態把握の方法について学習する。医療人としての姿勢、医療面接から検査までの流れ、意義、方法を理解する。 目標行動: 医療面接、検査方法を知ることができる。実技授業にて医療面接から検査まで一人で行うことができる。						
《成績評価の方法と基準》						
成績評価: 試験 基準: 試験成績の60パーセント以上合格						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書: 滋慶認定実技審査対応ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK(滋慶出版)、臨床医学総論第2版(医歯薬出版) 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
○基礎医学(解剖学・生理学)知識が必要となる科目です。解剖学、生理学の復習を習慣化してください。						
《履修に当たっての留意点》						
鍼灸治療をおこなう上で非常に重要な医療面接から検査までの内容を本講義で説明します。どのように行っていくのか流れと方法を理解し、鍼灸診断実技にて実践できるよう習得してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	この授業が何を学習するか説明できるようになる。 診察の基本について学び、説明できるようになる。	テキスト 配布プリント	鍼灸臨床BOOKの第1章を事前に読み、授業内で行う内容を理解しておく。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 診察の基本、医療面接			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般診察について学び、説明できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	一般診察: 視診・触診・打診・聴診について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般診察について学び、説明できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	バイタルサイン、関節可動域検査(ROM)について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般診察について学び、説明及び実践できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	関節可動域測定(ROM)、徒手筋力テスト(MMT)について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般診察について学び、説明及び実践できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	関節可動域測定(ROM)、徒手筋力テスト(MMT)、日常生活動作(ADL)について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	徒手検査方法を学び、検査意義の説明及び検査ができるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	徒手検査:上肢①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	徒手検査方法を学び、検査意義の説明及び検査ができるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	徒手検査:上肢②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	徒手検査方法を学び、検査意義の説明及び検査ができるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	徒手検査:下肢①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	徒手検査方法を学び、検査意義の説明及び検査ができるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	徒手検査:下肢②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚検査、反射検査の意義の説明及び検査ができるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	感覚検査、反射検査 中間試験		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の検査の意義について説明できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	中間試験の振り返り 神経系の検査:脳神経系①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の検査の意義について説明できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	神経系の検査:脳神経系②、髄膜刺激症状検査		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能検査、運動機能検査の意義について説明できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	高次脳機能検査、運動機能検査①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能検査の意義について説明できるようになる。	テキスト 配布プリント	期末試験に向けて復習し、不明な点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどしてなくしておくこと。
		各コマにおける授業予定	運動機能検査②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	今期の学習内容について、説明及び実践できるようになる。	テキスト 配布プリント	期末試験に向けて復習し、不明な点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどしてなくしておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期学習内容のまとめ		